

特集

／ 始まりました ／ デジタル化で 便利なくらし

●問合先 協働安全課市民協働グループ
(☎ 38-5803)



※画面はイメージです。

これからも続けていける 地域づくりをめざして

人口減少や高齢化など社会構造が変化する中、地域住民同士が支え合う地域づくりの大切さが高まっていますが、地域課題も多様化しており、「役員のなり手がいない」「活動の担い手不足」など「これまで通りのやり方」を続けていくことは難しくなっています。

そこで市では、令和4年度から、地域課題の解決や、持続可能な地域づくりに向けて自由に語り合う対話の場「未来寄合」を小学校区ごとに開催してきました。

その中で、「区のことをもっと知ってもらいたい」、「区役員の負担を減らしたい」、「回覧物のデジタル化も必要では」などの声が寄せられました。

このような背景から、令和6年度から、町内会などの活動を支援するアプリ「結ネット」を活用した町内会（行政区）のデジタル化の支援を進めています。



「結ネット」は、住んでいる地域の町内会の回覧板やお知らせを、スマートフォンなどで見ることのできるアプリです。

利用の流れを紹介します。



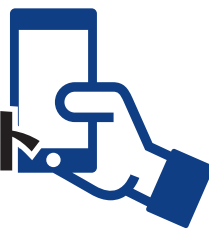
- ① 町内会役員が回覧文書等を「結ネット」に掲載
- ② 「結ネット」に登録した住民のスマートフォンなどに通知
- ③ 通知された回覧文書等を住民が閲覧

町内会のデジタル化って？ どういうコト？

最近よく耳にする「デジタル化」という言葉。難しく感じるかもしれませんが、実は私たちの身近な生活の中にもたくさんあります。例えば、紙の地図の代わりにスマートフォンで道を調べたり、ネットショッピングを楽しんだりするようになったこともデジタル化のひとつです。

現在、住んでいる地域の町内会からの情報発信は、紙による回覧板が主な方法ですが、「結ネット」を使えば、スマートフォンなどからも回覧板やお知らせを見ることができるようになります。

\ 紹介します / 「結ネット」のメリット



実際の使い方の一例を紹介します。
※利用できる機能は、町内会ごとに異なります。

いちばんの魅力は、情報がすぐ届き、いつでもどこでも確認できることです。
さらに、行事や活動の発信を通して、町内会の様子が見える形で伝えられます。

町内会行事.....

行事の案内を一齐に配信でき、天候等による急な予定変更もすぐにお知らせできます。

回覧板.....

回覧の滞りなく、情報をすぐに共有でき、外出中でも確認できます。さらに、過去の回覧内容も後から確認可能です。

\ 教えてください / 利用しているみなさんの声



令和6年度に「結ネット」を導入した5つの町内会に、実際に使ってみた感想や導入後の変化について、話を聞きました。

・・・まちの様子を気軽に知らせられるのがいいですね.....

もともと役員間でLINEを使っていたこともあり、結ネットの導入に抵抗はありませんでした。それよりもいろいろなことにチャレンジしてみようという気持ちが大きかったです。

紙の回覧板は、留守などで止まってしまったりすることもあります。その点、結ネットなら一齐に伝えられることがとても便利です。

また、私たちのまちでは、ちょっとした地域の出来事やイベントの報告を気軽に投稿するようにしています。イベント等に参加していない人でも、配信を見ることで地域の雰囲気を感じてもらえたらいいなと思っています。

登録率の向上が今後の課題ですが、少しずつ活用の幅を広げていきたいです。



中央町

・・・町内会に入ってくれている人に、ちゃんと情報を届けたい.....



中本町

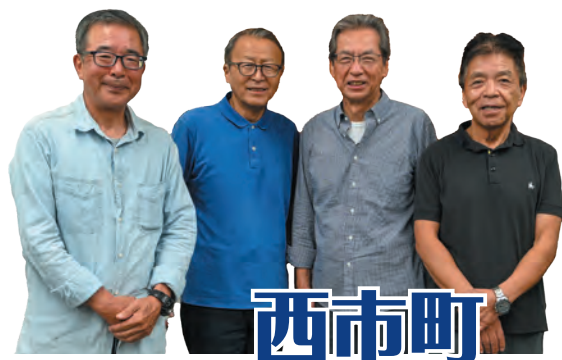
中本町区では集合住宅の世帯に紙の回覧板をうまくまわせないという課題がありました。「町内会に加入している人に、きちんと情報を届けたい」という強い気持ちがあり、デジタルツールの必要性を感じていました。

そこで、まず中本町区の公式LINEを立ち上げましたが、誰が参加しているのか把握しにくいことや、情報が埋もれてしまうことなどの使いにくさもありました。その点、結ネットは登録時に中本町区民かどうか確認でき、また情報メニューが分かりやすいと感じます。

紙の回覧板は月2回と決っていますが、結ネットでは回覧するものができた時点で発信しています。とにかく情報ははやく伝達できることがデジタルの強みですね。

まだ登録率が3割と低いので、どうやって結ネットへの登録を促していくかが今後の課題です。

・・・チャレンジしたからこそ、課題も見えてきました・・・



西市町

結ネットの登録者を増やすため、「デジタル推進委員会」を立ち上げて、登録会を開き、説明を重ねてきました。また、災害時の安否確認にも活用できる可能性を考えていました。

10月には、西市町区の防災訓練で結ネットを活用した住民の安否確認の運用を試みました。災害モードに切り替えると、わずか15分程度で登録者100人以上から返答があり、短時間で多くの情報を集められることを実感しました。一方で、未読のままの人がいたことや、アプリの操作に不慣れな役員もまだ多く、当日、現場が混乱したことも課題として浮き上がりました。

こうした経験も踏まえ、今後は使い方をもっと共有し、緊急時にしっかり活用できる体制づくりを進めていきたいと考えています。

・・・デジタルに慣れるきっかけの一つになれば・・・

世の中のデジタル化が進むなか、「今のまま紙の回覧だけでいいのか」という危機感がありました。役員の負担が増える可能性もありましたが、「やってみる価値はある」と思い、導入を決めました。

現在、登録者は全世帯の5割を越えています。登録者をさらに増やすため、今年の南新町区の盆踊りで結ネットに、お楽しみ券交換クーポン（電子チケット）を配信するという新しい取り組みを行いました。結果、2日間で延べ80人以上の利用があり、好評でしたが、新規登録の増加にはつながらず、課題も残りました。

今後さらに登録者が増えれば、イベントの出欠確認にアンケート機能などの活用も検討していきたいです。役員の負担と活用のバランスを考えながら、少しずつ使い方を広げていきたいです。



南新町

・・・「あとで見たい」「すぐ見たい」ができるのが便利です・・・



鈴井町

デジタルが苦手な世代も多く住んでいるので、正直メリットとデメリットの両方があると思いました。しかし、いつかはデジタルが当たり前になる時代がくる。だったらまずはやってみようと思いました。

結ネットは紙の回覧と違い、必要なときにすぐに見直せるのが強みです。特に、規約や役員会の議事録などの大切な文書を結ネットの書庫に保管し、共有できるようにしたことは大きな変化でした。紙だとすぐに探せなかった資料も、いつでも確認できます。

まだ登録率は3割ほどですが、若い人たちのアイデアも取り入れて、堅苦しくない、楽しく使えるツールに育てていけたらいいですね。

導入している

町内会はどんどん**拡大中!!**

令和6年度に導入した5つの町内会に加え、令和7年度は新たに6つの町内会（中野町、本町門前、新柳町、石仏町、大地町、川井町）で「結ネット」の導入が進んでいます。各町内会の状況に応じて、順次、登録案内などの周知が行われる予定です。

住んでいる地域の町内会で導入された際は、ぜひ登録してください！

市ホームページ▶



お気軽に
相談して
ください

協働安全課
植手さん

